

# 開催報告【ハイブリッド】令和6年度 質量分析講習会 -マススペクトル解析演習3-

【開催日時】 2025年2月7日(金)、13:30～16:00 ( 途中参加・途中退室可 )

【場所】 WEB ミーティング(ZOOM)

【世話人】 質量分析技術者研究会 講習会担当：大阪大学 三宅里佳、  
奈良先端科学技術大学院大学 西川嘉子、鳥取大学 横野瑞希、  
北海道大学 岡征子、名古屋大学 瀧健太郎

【講師】 高橋 豊 氏 (エムエス・ソリューションズ株式会社)

【参加対象者】 MS測定経験者および今後、測定する予定のある方。

【参加者】 14人

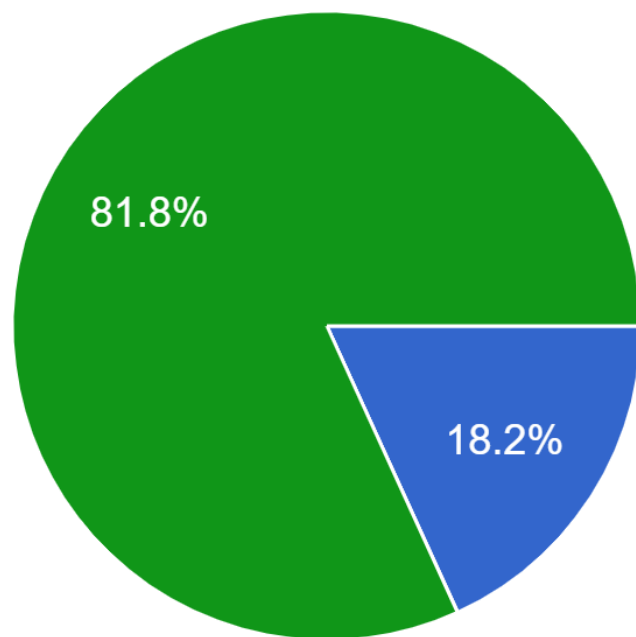
## 【プログラム】

13:30-16 : 00 (途中休憩あり)

1. マススペクトル解析 (事前課題の解説)
2. Q&A

# 設備ネット 質量分析講習会への参加は初めてですか？

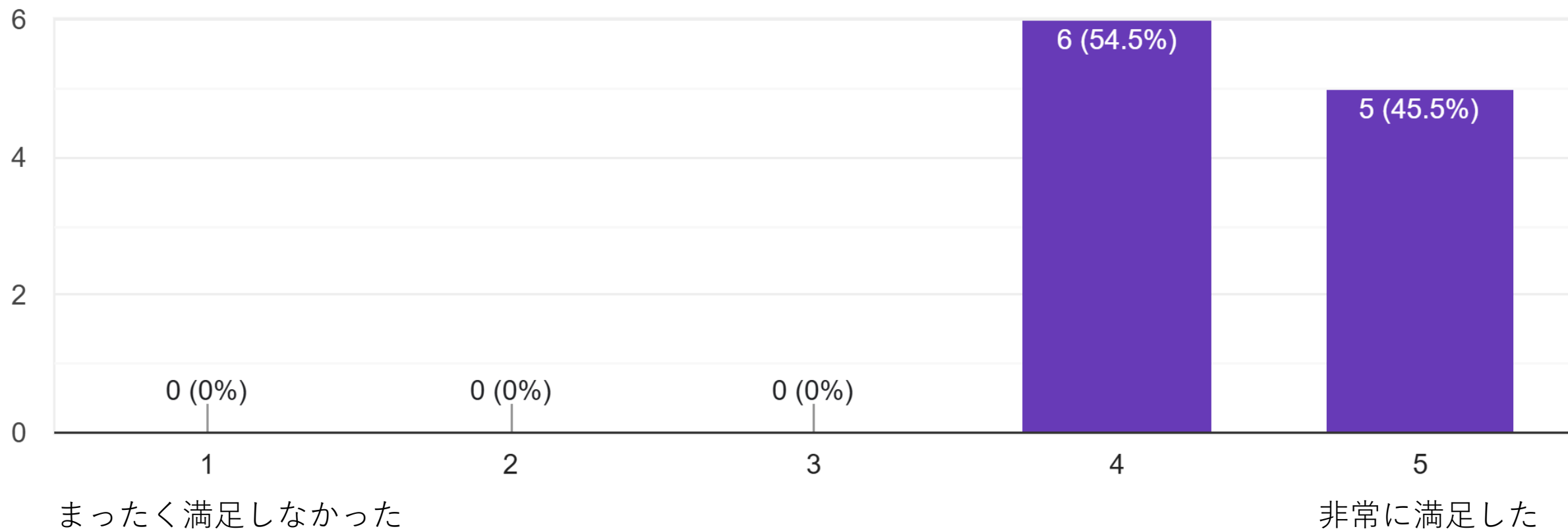
11件の回答



- 初めて
- 2回目
- 3回目
- それ以上

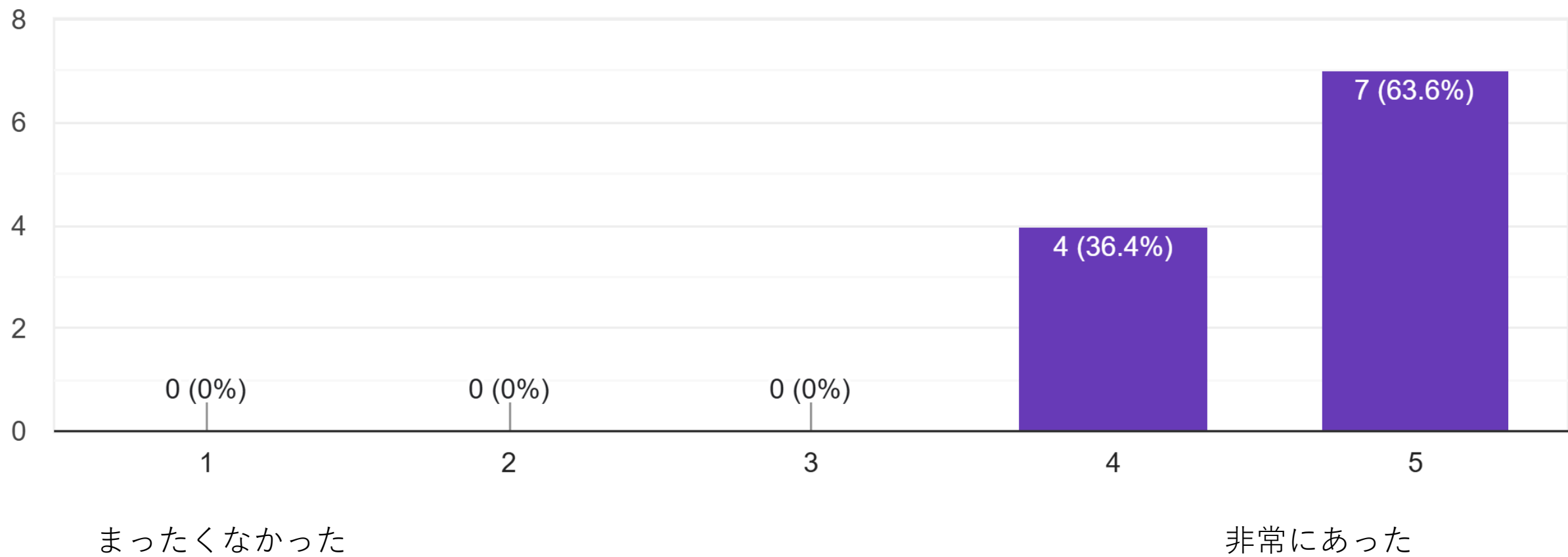
セミナーにはどのくらい満足されましたか。

11件の回答

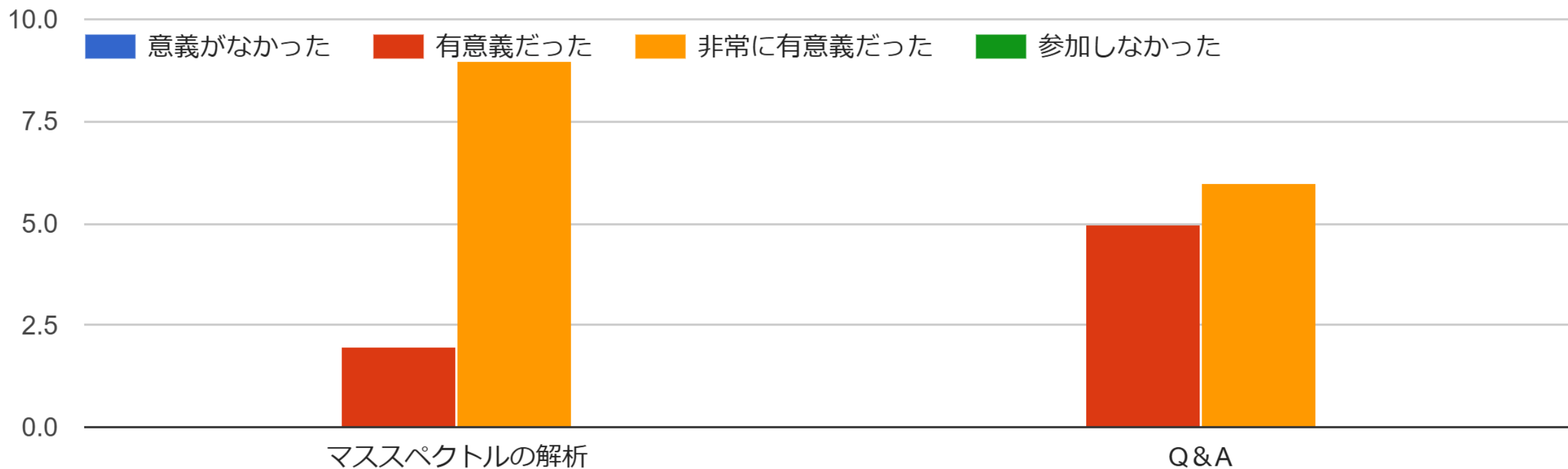


ご自分の仕事との関連性や、仕事に役立つ部分がありましたか。

11件の回答



セミナーの各セッションは、どのくらい有意義だと感じましたか。



質問があればご記入ください。可能な限りフィードバックします。

- コレステロールは $-H_2O$ が出現しますのでNegativeで測定したように思います。開裂のしやすさの判断基準があれば嬉しいのですが。すでにあり、勉強不足でしたら申し訳ございません。よろしくおねがいたします。
- 結果論では、脱水した方が安定だからって事なんでしょうけど、じゃあどんな構造がそれに当てはまるの？の部分については、正直なところよく分かりません。コレステロールの他には、オイデスマールという化合物が同様に脱水イオンしか観測されません。他にも同様な化合物はあると思うので、そういうのを集めてみれば、構造的な類似点が見えてくるとは思いますが、．．．あるいは、計算とかで分かるものなのか、．．．？

ついでと言っては何ですが、Pos-ESIで脱水イオンしか検出されない化合物に対して、脱溶媒温度を下げて元の分子質量を推測するって論文を以前書いたので、URLを添付します。興味あれば読んでみてください。

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/bunsekikagaku/69/3/69\\_115/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/bunsekikagaku/69/3/69_115/_pdf/-char/ja)

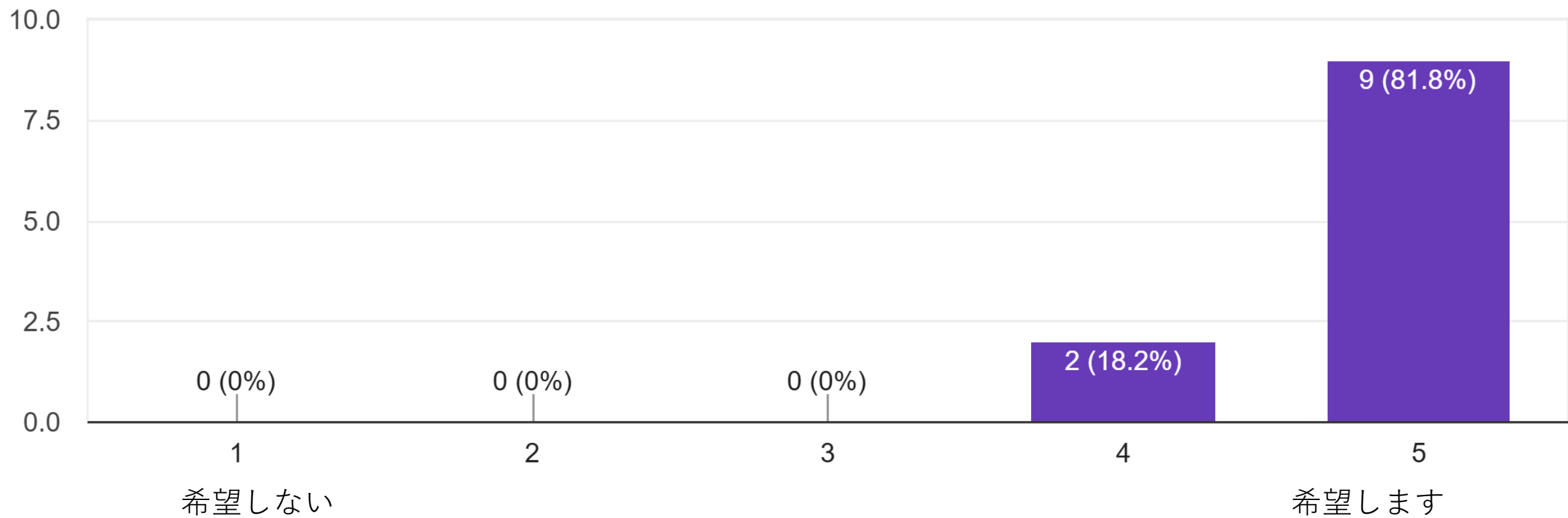
このセミナーの感想をご自由にお書きください。

- 前回、こちらの事情でうまく参加できませんでしたので、今回の補講は大変うれしかったです。ありがとうございました。当日、私も通信トラブル等があり、初めの20分位は参加できませんでした。今後ともよろしく願いたします。
- いつもありがとうございます！
- 基礎から解説いただき大変勉強になりました
- ペプチドのフラグメンテーションについて復習できてよかったです。
- ありがとうございました。



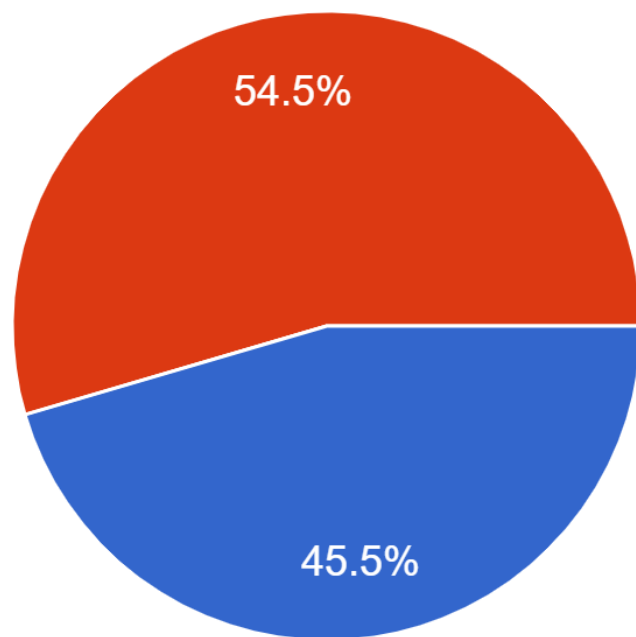
今後もこのようなセミナーの開催を希望されますか。

11件の回答



今後の開催形式について、どのような形を希望しますか？

11件の回答



- オンライン希望
- オンラインと現地開催のハイブリッド形式希望
- 現地開催希望

今後企画してほしいセミナー内容やご意見ございましたらご記入ください。

- あまり参考になりませんが、昔話、失われた技術、などを聴けるうちに聴いてみたいで  
す

